

第 36 回長野市地域公共交通会議 議事概要

- 1 開催日時 令和 5 年 7 月 24 日（月） 10 時 00 分～10 時 40 分
- 2 開催場所 長野市役所第一庁舎 4 階 会議室 141
- 3 出席者 出席委員 15 人
- 4 次 第
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議事項
 - (1) 牟礼線の土休日の減便について
 - (2) 路線バスの見直しについて
 - (3) 自家用有償旅客運送の更新登録について
 - 4 そ の 他
 - 5 閉 会

5 議事概要

【3 協議事項】

(1) 牟礼線の土休日の減便について

[資料 1 に基づき長電バス(株)及び事務局より説明、原案どおり決定]

<質疑>

(A 委員)

飯綱町でも公共交通会議は行うのか

(事務局)

地域間幹線ということで、飯綱町でも公共交通会議にて協議予定である

(B 委員)

飯綱から長野駅へ向かう乗客が多いのか

(C 委員)

長野駅から利用する乗客については、市内で完結する方が多い

(2) 路線バスの見直しについて

[資料 2 に基づき事務局より説明、原案どおり決定]

<質疑・意見>

(D 委員)

大豆島保科温泉線について、大豆島小学校から職業訓練校までの道幅が狭く、新しい道が開通したこともあるので、ルート変更も検討してもらいたい

(事務局)

それも含めて、見直しを検討する

(B 委員)

大豆島保科温泉線については長距離運行になっており、利用がある区間とほぼ利用がない区間が明確に分かれている。運行区間の短縮は適切である

運行方針として、土日のある程度利用のある時間も減便になるのか

(事務局)

利用の多い時間帯も含めた便の統合を検討し、再設定していく予定である

(B 委員)

利用客の利便性に注意してもらいたい。運行区間を分けることでドライバーや車両の確保はできるのか

(事務局)

利用の少ない区間は、大型車両を走らせる必要はないと考える。大型免許がなくても運行ができれば、ドライバーの確保が可能であると想定される

(E 委員)

やむを得ないと思うが、減便やバス停が遠くなることは、高齢者に免許を返納するように言われている中で、高齢者の社会参加が遠のいてしまう

(事務局)

皆様に利用していただくことを前提に、意見を聞きながら見直しをする。利用の少ない中山間地域では、デマンド運行として自宅に近い場所まで行くなど工夫しながら公共交通を残していく

(B 委員)

川後線の見直しは鬼無里線との重複区間の効率性や統合等を検討したか

(事務局)

運行ダイヤ等を確認し検討をしている

(B 委員)

中条地区の運行の見直しについて、信州新町と一体化することで、中条地区の車の台数は何台になるか。また、利用者の多い経路については時刻運行によるデマンド、利用者の少ない経路についてはフルデマンドにするなど、利用者の利便性を損なうことのないようにしてほしい

(事務局)

中条地区は4台となる

様々な方法を組み合わせて、利用者の実態に合った運行を考えていきたい

(3) 自家用有償旅客運送の更新登録について

[資料3に基づき事務局より説明、原案どおり決定]